



技能が「見える」職場で 社員をレベルアップ

— 認定社内検定導入の効果 —



< 社内検定認定制度とは >

社内検定認定制度とは、個々の企業や団体が、そこで働く労働者を対象に自主的に行っている検定制度（社内検定）のうち、一定の基準を満たしており、技能振興上奨励すべきであると認めたものを厚生労働大臣が認定する制度です。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

社内検定 厚生労働省

検索



あしたを拓く人を創る
厚生労働省 人材開発統括官

認定社内検定導入の効果



技能の見える化・標準化

社内検定を導入する過程で、従業員が仕事をする上でどのような知識・技能が必要なのが整理され、明確になります。これを元に技能の標準化を進め、品質管理や業務プロセスの向上に役立てている企業もあります。

導入企業・団体の声

- 従来、各従業員が自己流で行っていた技術を標準化することができた。どの店舗でもサービスや商品の一定レベルを担保することによって、当社のスタンダードを示し、顧客の安心感につなげることができている。
- かつては「背中を見て学ぶ」というスタイルであったが、身につけるべきことを標準化して示すことができるようになった。
- 対象となる従業員の技能レベルを明確にできた。



従業員のモチベーションアップ

社内検定をキャリア形成や能力開発の指針としたり、処遇決定の基準とすることで、従業員に対し、社内が必要となる知識・技能の習得を促すことができます。また、社内検定での合格が自信となり、従業員が生き生きと仕事に取り組めるようになったとの声もあります。

導入企業・団体の声

- 従業員の技能に対する誇りや更なる技能蓄積、就労に対するモチベーションにつながっている。
- 資格取得という目標に対して、知識や技能を身につける努力をするようになったことに大きな意義がある。
- 従業員の継続的な勉強の場をつくることができた。



知識や技能・技術の向上

社内検定を通じて従業員の能力開発が進むことで、実際に企業全体としても技能のレベルが向上しているという企業もあります。

導入企業・団体の声

- 知識や技能が身についたかどうかの確認ができるため、人材育成としての効果が高い。
- 社内検定を受検させることによって技術力が1ランク上がる。
- サービスの対象となる知識や技能の向上につながっている。



若手従業員の定着・新入社員の採用

社内検定を通じて従業員の目指すべき人材像を明らかにすることで、従業員の定着を高めることができます。また企業が人材育成に注力していることや、企業内での経験や実績、技能や知識の蓄積に基づく評価を行っていることをアピールし、人材確保や定着率向上につなげることができます。

導入企業・団体の声

- 社内検定を通じて将来のイメージを持つことができ、若手人材確保、定着の一助となっている。認定を受けていることが、保護者や学校の先生の信頼感を高めている。
- 受検者間で、良い意味でのライバル意識や仲間意識が醸成され、定着率の向上につながっている。
- 従業員の継続的な勉強の場をつくることができた。

サービスの対象となる**知識や技能の向上**につながっている。

認定を受けていることは、**顧客に対するアピール**になっている。

— などの多くの声をいただいています。



社内の技能評価への 権威づけ

国による認定を受けることにより、社内での技能評価に権威と客観性を
持たせることができます。

なお、認定を取得した企業・団体は、パンフレットや合格者の名刺などに
「厚生労働省認定」と表示することができます。

導入企業・団体の声

- 従業員が自分の経歴をまとめる際に、公に認知されている経歴
が記載できることの意義は大きい。
- 国から認められている試験基準であるため、簡単には変わらない
という安定感がある。
- 社内検定制度を国に認められているのは当社の誇りである。



業界内での 地位向上・差異化

国の認定を受けた社内検定を実施していることが、企業の社会的評価
や信頼感につながり、業界内での地位向上に役立っているという声も
あります。

導入企業・団体の声

- 認定を受けたことによって、業務の認知度や価値が高まり、仕事が
やりやすくなっている。
- 新規参入が簡単な上、業界内に独自の資格が乱立しているため、
顧客はサービスの品質を評価しづらく、事業者の選定が難し
かった。認定を受けていることで、他社との違いを打ち出すことが
できている。



顧客の評価

従業員の職業能力のレベルの高さや、自社に特有の技能・知識がある
ことを顧客にアピールし、ブランド化による企業価値や顧客満足度の
向上、ひいては業績アップにつなげている企業もみられます。

導入企業・団体の声

- 認定を受けていることは、顧客に対するアピールになっている。
- 検定に合格した従業員がつけているバッジを見て、関心をもった
顧客から声がかける。
- 新しくサービスを利用する時に、事前に会社のホームページを
チェックしたり、口コミ情報を調べることが多くなってきた中、認定
を受けていることはメリットになると思う。



広報効果・ 企業ブランドの向上

認定を受けた企業・団体は、ロゴマークをパンフレットや合格者の名刺
などに使用することができ、社内検定の広報効果、企業ブランド力の
アップなどにつなげることができます。

導入企業・団体の声

- 名刺にロゴマークを印字したことで、顧客に関心をもたれ、自社の
社内検定の認知度向上につながっている。
現在、ロゴマークを使用したバッジを作成している。
- ロゴマークを活用することで、知識や技能が身につけていること
の顧客に対するアピールとなり、従業員のモチベーションにつな
がっている。

認定社内検定を導入している企業・団体

株式会社デンソー

セキスイハウス協力会

イオン株式会社

アスモ株式会社

キャタピラー・ジャパン合同会社

大和ハウス工業協力会連合会

日産自動車株式会社

三菱ロジスネクスト株式会社

兼房株式会社

株式会社互省製作所

日立オートモティブシステムズ株式会社

ダイハツ工業株式会社

内浜化成株式会社

三菱自動車工業株式会社

ヤママー株式会社

マツダ株式会社

トヨタ自動車販売店協会

東京ガスグループ認定訓練共同運営組合

小島プレス工業株式会社

小松フォークリフト販売店協会

全日本美容業生活衛生同業組合連合会

資生堂ジャパン株式会社

いすゞ自動車株式会社

株式会社ニコン

日本きもの着付士協会

株式会社カネボウ化粧品

日野自動車株式会社

一般財団法人全日本和装コンサルタント協会

アメニティネットワーク技能検定協会

社会福祉法人日本盲人社会福祉施設協議会

日本窯業外装材協会

日本愛玩動物技能協会

日本ロックセキュリティ協同組合

シチズン時計マニュファクチャリング株式会社

UDトラックス株式会社

田島ルーフィング株式会社

ソフィーナビューティカウンセリング株式会社

ビケ足場仮設事業協同組合

今治タオル工業組合

株式会社小林豊子着物学院

ジヤトコ株式会社

スプレーウレタン・ウレア工業会

株式会社コーセー

株式会社そごう・西武

管清工業株式会社

公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

株式会社伊藤園

デンソートリム株式会社

磨き屋シンジケート

平成30年3月22日現在

社内検定の認定にチャレンジしてみませんか？ まずはお気軽にお問い合わせ下さい。

社内検定認定制度に関するお問い合わせ

厚生労働省人材開発統括官能力評価担当参事官室

03-5253-1111 (内線:5945)

受付時間 9:30~18:15 (12:00~13:00、土・日・祝日は除く)

E-mail: shanaikentei@mhlw.go.jp

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

03-6733-3501

受付時間 10:00~17:00 (12:00~13:00、土・日・祝日は除く)

E-mail: office-shanaikentei@murc.jp